

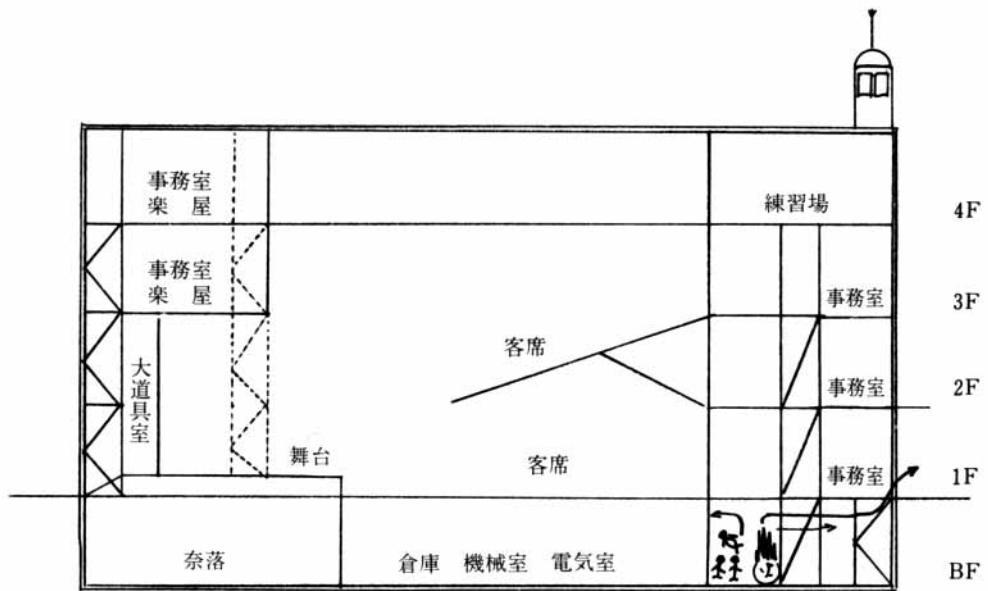
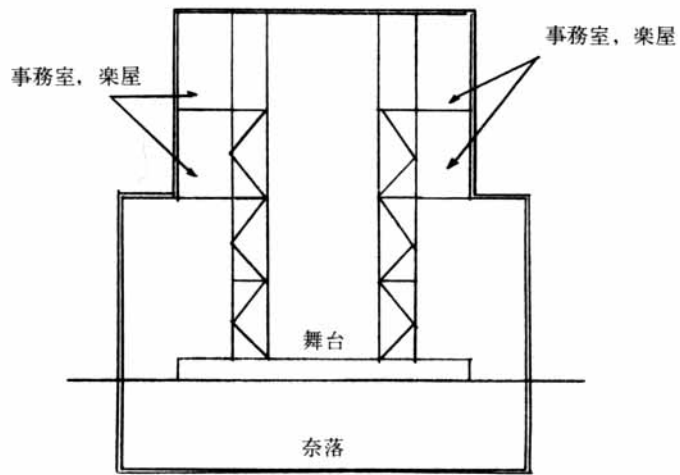
名 称 所 在	用 途 (令別表)	発 生 日 時 等	構 造 ・ 階 層 面 積	焼 損 程 度 (焼 損 面 積) 延 面 積	死 傷 者
国際劇場 東京都台東区西 浅草 3-17-18	劇 場 (1)イ	昭和43年 3月18日	耐火 Ⅳ	全・半・㊦小	死者 3名
		出火 2時15分ころ 覚知 2時17分 覚知別 報知電話 鎮火 4時59分	建 4,306 m ² 延 13,726 m ²	153m ² (0.01%)	傷者 7名 (5)

I 火災概要								
① 概 要	深夜、劇場の地下から出火し、地階 153 m ² を焼損しただけだったが、出火場所付近は戦後住宅困窮者がそのまま住みつき、地階を居室としていたため、逃げ遅れて3人が死亡した。消防活動も地下火災のため濃煙により極めて困難をきたし、職員数名が一酸化炭素中毒により、病院に搬送されている。							
② 階 別 状 況	階	床面積 m ²	焼損床面積 m ²	用途(売場)	在館者	死 者	避難設備等	消防用設備等
	PH	19					屋内階段 4箇所 内訳 劇場側2 火点側2 (B1F~1F)	消 内 自
	4	1,170		楽屋・練習生				
	3	2,871		楽屋				
	2	1,078		客席・楽屋	1			
	1	4,658		舞台・客席	2			
	㊦	3,930	153	奈落、電気室、機械室	13	3		
	合計	13,726	153		16	3		
	③ 出 火 場 所	(階、室、部位、可燃物状況、居室・非居室、在・不在) ○地階の雑品が置かれていた通称太鼓橋と呼ばれる舞台部(客席下部)と第3けい古場を結ぶ連絡橋の下。 ○この場所は、外部からの出入りが自由で、浮浪者等が時々寝泊りしている事実があった。 ○雑品(布団・板等)が集積してあった。					④ 出 火 原 因	不明火 地階の太鼓橋と呼ばれる連絡橋の下に集積してあったゴミ屑が何らかの火源により出火したものと推定されるが(たばこ等の小火源による出火の線が強いが確証はない)原因を確定するまでにはいたってない。

⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<div style="text-align: center;"> <p>(出火部位) (出火場所での拡大) (他室への延焼)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">地階の連絡橋下</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ごみ屑 雑品(布団、板等)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">木造の間仕切壁</div> </div> </div>	
	<p>出火場所は、雑品（布団・板等）が置かれていた通称太鼓橋と呼ばれる連絡橋の下で、急激に燃焼した形跡はなく、長時間くん焼状態を続けたものと認められる。付近のごみ屑・雑品等に燃え移り拡大した火は、木造壁に延焼し、周囲に拡大していったものと思われる。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 延焼拡大した主な理由 地下内装に木材等の可燃物を多量に使用していた。 ○ 煙の伝播経路 地階屋内通路に沿って充満し、階段から濃煙が吹き上げた。 	
II 火災建物概要		
① 建 築	着工・竣工又は主たる改築等 (開館) 昭和22年11月23日 () 昭和 年 月 日	
管 理 状 況	② 豎 穴 の 状 況	③ 防 火 管 理 状 況
	階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input type="checkbox"/> エレベーター <input type="checkbox"/> パイプシャフト <input type="checkbox"/> エスカレータ <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 特記なし	劇場部分については、防火管理者、消防計画、自衛消防隊等全て組織的には完備しており、訓練等も行われていた。
	④ 防 火 区 画 等	⑤ 消 防 用 設 備 等
	昭和41年6月7日、地下用途変更部分の居室及び地上に通ずる主たる廊下、その他通路の壁体を準不燃材料以上に改善するよう勧告を受け、出火時には改修のため地階の防火区画等の工事に着手、進行中であった。	特記なし

III 火災後の行動						
① 発見状況	<p>○発見者 (警備員) ○発見の動機 (きな臭いにおい) ○発見後の行動 (確認のため廊下に出る)</p> <hr/> <p>警備員K(63才)は、劇場の終演後、予定コースの巡回を終り1階控室で待機中、きな臭いにおいがして来て煙が室内に入って来た。驚いて室を出て見ると南側地下の階段から煙が噴きあげて、地下に降りる事ができず急いで同僚のSに「地下室が火事だ」と知らせた。</p>					
② 通報状況	<p>通報した <input checked="" type="checkbox"/> (警備員) 出火後約(2)分 しない <input type="checkbox"/></p> <hr/> <p>警備員Sが「地下室が火事だ」との声で通報すべく、1階警備員室に入ろうとしたが、煙のため入ることができなかった。劇場前の公衆電話で通報した。</p>					
③ 初期消火状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">消火した</td> <td style="width: 30%;"> 成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> </td> <td rowspan="2" style="width: 55%; vertical-align: top;"> (理由又は状況) ボイラーマンN(28才)は、地下機械室の自動火災報知設備の作動により、火災を知り第3けい古場にかけて火災を確認し、消火器で消火しようとしたが、煙がひどいので駄目だと感じ、屋内消火栓からホースを延長したが届かないので、そのまま避難した。(電気室にいた3人もこれに協力している) </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">消火しない</td> <td> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/> </td> </tr> </table>	消火した	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) ボイラーマンN(28才)は、地下機械室の自動火災報知設備の作動により、火災を知り第3けい古場にかけて火災を確認し、消火器で消火しようとしたが、煙がひどいので駄目だと感じ、屋内消火栓からホースを延長したが届かないので、そのまま避難した。(電気室にいた3人もこれに協力している)	消火しない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
消火した	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) ボイラーマンN(28才)は、地下機械室の自動火災報知設備の作動により、火災を知り第3けい古場にかけて火災を確認し、消火器で消火しようとしたが、煙がひどいので駄目だと感じ、屋内消火栓からホースを延長したが届かないので、そのまま避難した。(電気室にいた3人もこれに協力している)				
消火しない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>					
④ 消火活動概要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <p>○劇場地下内装に木材等の可燃物を多量に使用しており、噴出する濃煙と熱気のため消防隊の進入がはばまれ、また進入した消防隊も濃煙のため視界をさえぎられ、火点及び延焼状況をは握、確認するのが困難であった。</p> <p>○地下火災の筒先進入部署の決定に際しては、空気の吸入側を選定することが原則である。したがって、早期にこの面をは握し、進入部署の決定がなされるべきである。排煙側については、地上階又は周囲の延焼経路となることのない様、考慮し、筒先配備する必要がある。</p> <p>○警防調査を通して、実態のは握、特に排煙要領について検討しておく必要がある。</p>					

	避難方法	避難上支障事項
⑤ 避難 状況	<ul style="list-style-type: none"> ○階段を利用 <input checked="" type="checkbox"/> (人) ○エレベーター、エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> (人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○窓、開口部から直接地上へ <input type="checkbox"/> (人) ○救助 <input checked="" type="checkbox"/> (1 人) ○その他() <input type="checkbox"/> (人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input checked="" type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, (未設置)) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> (地下を居室としていた)
⑥ 死者 の 状況	<p>健康人 2名 (泥酔者 名) 要保護者 1名 乳幼児 1名 高齢者 名 身体不自由者 名 病人 名</p>	<p>避難上支障となった事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input checked="" type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, (未設置)) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> (地階を居室にしていた)
<p>○ T組のNは、地下居室で妻に「火事だ」と起こされ、子供は妻に頼み、通路より避難した。(妻と子供は途中、煙にまかれ死亡)一緒に泊り込んでいた人夫3人の内2人は自力避難。</p> <p>○ 1階控室にいた警備員2人は一旦地下に向ったが、階段からの煙の噴出が強いのでそのまま表に避難。</p> <p>○ 電気室にいた3人とボイラーマンNは、初期消火を断念後避難、囲碁教室にいた親子3人も自力脱出。</p> <p>○ 掃除人K(51才)は、2階で就寝中、逃げ遅れ救助を求めている所、消防隊により救助。</p>		
<p>IV 問題点・教訓等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出火した地下部分は、戦後不法占居されていたものをT組が事務所として占有使用していたことから劇場では立退きの裁判を提訴中であった。このため、一体の対象物でありながら、劇場側では管理の徹底を期すことも、消防側の査察指導事項の是正もはかれないという盲点場所であった。 2. 地下に居住部分があるため、正面両側の出入階段は常時開放されて部外者も自由に出入できるようになっていたため、火災予防的には無防備の状態にあった。 3. 地下の各出入口から一番奥まった箇所が火点で、くん焼状態が続き、地下通路に煙が充満したが、何らの警報設備もなかったため、気付いたときは濃煙のため、方向感覚を失うとともに呼吸困難を起していた。 4. 現行法令上、地下建物を住居として使用することは、禁じられているにもかかわらず使用していた。 		



拡大図（死者の発見状況）

